

労働災害の発生状況・安全衛生への取組

大阪信用金庫

労働災害の発生状況を継続的に把握・分析し、安全で安心して働ける職場環境の整備に取り組んでいます。過去の発生状況や傾向を分析し、再発防止・未然防止につなげるとともに、今後もデータを活用した安全衛生活動の改善を進めます。

▶2025年度 労働災害実績

労働災害発生件数	30 件	前年比	4 件増加
休業災害件数	6 件	前年比	5 件増加
延べ休業日数	81 日	前年比	47 日増加

▶労働災害の過去3年推移

項目	2023年度	2024年度	2025年度	昨年比
労働災害発生件数	35	26	30	4
内 休業災害	7	1	6	5
内 休業を伴わない災害	28	25	24	▲ 1
死亡災害	0	0	0	0
合計	35	26	30	4
延べ休業日数	121	34	81	47

▶労働災害の発生件数（年代別）

項目	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
2023年度	18	5	2	4	6	35
割合	51.4%	14.3%	5.7%	11.4%	17.1%	100.0%
2024年度	9	8	6	1	2	26
割合	34.6%	30.8%	23.1%	3.8%	7.7%	100.0%
2025年度	9	8	5	6	2	30
割合	30.0%	26.7%	16.7%	20.0%	6.7%	100.0%

▶労働災害の発生場所

項目	営業室内	渉外活動中	通勤災害	その他	合計
2023年度	11	17	7	0	35
割合	31.4%	48.6%	20.0%	0.0%	100.0%
2024年度	4	18	4	0	26
割合	15.4%	69.2%	15.4%	0.0%	100.0%
2025年度	6	16	6	2	30
割合	20.0%	53.3%	20.0%	6.7%	100.0%

▶労働災害の発生要因

項目	営業室内 での転倒	渉外活動 中の転倒	通勤中の 転倒	交通事故	挟まり (扉等)	その他	合計
2023年度	6	5	3	14	2	5	35
割合	17.1%	14.3%	8.6%	40.0%	5.7%	14.3%	100.0%
2024年度	2	10	2	9	1	2	26
割合	7.7%	38.5%	7.7%	34.6%	3.8%	7.7%	100.0%
2025年度	5	13	4	5	1	2	30
割合	16.7%	43.3%	13.3%	16.7%	3.3%	6.7%	100.0%

▶分析結果と具体的な施策

分析結果	分析から見えた課題	具体的な施策
労災発生件数は 過去3年間概ね横ばい	労災の未然防止・ 再発防止の継続	発生状況の継続的な把握・分析、 事例共有
渉外活動中の災害が 毎年度約半数を占める	交通事故等の防止	天王寺警察署による 交通安全研修の実施
50代以上の転倒による骨折に より、休業日数が長期化	加齢に伴う身体機能の変化や 転倒リスクへの対応	高齢者向け フレイル予防セミナーの実施
各年度とも転倒が 労災の要因として多い	営業室内における転倒災害の防止	労災防止ポスターの掲示、 整理整頓・安全確認の啓発

以 上